

令和6年度 学校園評価(学校関係者評価)シート

(様式2)

学校名 加古川市立若宮小学校

1 学校教育目標 すこやかで、創造的に生きようとする児童の育成 ー進んで学ぶ子・仲よく助け合う子・最後までやりぬく子・元気がんばる子ー

2 学校基本方針
 ①主体的に生きる力を育てる教育活動の実践
 ②心豊かな児童の育成
 ③自主性、根気強さ、自立心の育成
 ④自らきたえる、たくましい心身の育成
 ⑤信頼される教師としての資質向上
 ⑥家庭、地域との連携

3 志向する学校運営
 ①児童にとって ・学校は「未来を生きる礎を学ぶ場」であること
 ②保護者にとって ・学校は「安心・安全な信頼できる場」であること
 ③教職員にとって ・学校は「働きがいがあり協働の気風のある場」であること
 ④地域にとって ・学校は「まちづくりの拠点となる場」であること

評価基準
 A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

※評価項目を評価願います。

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(学校関係者評価)	達成状況
子どもたちの学びを支える学習支援の充実	・学ぶ意欲を育むための教師による、授業の構想、学習方法、指導方法、言葉かけなどの児童への意図的な働きかけが効果的に行えた。	B	・目指す子どもの姿を教職員で共有する。	・自立への手助けができていてる学校であると感している。 ・良い環境の中で学校生活を送ることができている。 ・児童のよいところを放送していることがよかった。	B
SDGsの目標達成をめざす総合的な学習の時間の充実	・SDGsの視点を意識させ、めあてをしっかりと持たせたり、事前事後の学習を充実させたりしながら総合的な学習(生活科)の時間の充実に努めた。 ・地域人材(外部講師)や学校外施設の活用により、子どもたちが体験的に学ぶことができるよう工夫した。	A	・2年間の研究の成果をさらに深め、若宮小学校ならではの総合的な学習の時間のカリキュラムを充実させる。	・養田川、ビオトープを活用して環境学習に取り組み、地域の方にインタビューしたりchromebookを活用してまとめの発表会をしたりと熱心に取り組んでいる。 ・わかば学園との交流を盛んに行っている。	A
考えて行動できる力の育成をめざす人権教育の推進	・日頃から、お互いを認め合うあたたかい人間関係づくりや学級づくりに努めるとともに、わかみや人権週間などの取組を充実させた。	A	・多様性を認め合う社会の実現に向けた学習や実践を行う。	・本校の児童は考える力がある。行動力がある ・子どもの言葉の粗さが少し気になる	A
自主的実践的な態度を育てる特別活動の推進	・学級での係・当番活動や委員会・クラブ・児童会などの特別活動において、児童の考えや意見を取り入れるなど、児童が主体的に取り組むことができる活動になるように工夫した。	A	・活動の目的や意義を児童に明確に伝え、児童自らがその重要性に気づき発信していくことができるような体制を整える。	・学年を超えての交流活動が行われており、協力関係ができていてることは素晴らしい	A
実生活に生きる安全・防災教育の徹底	・自他の命を守り抜くために主体的に判断して行動する力や助け合いやボランティア精神等共生の心の育成を図った。	A	・自分の命は自分で守ろうとする態度の育成を図る ・防災訓練を計画的に実施する。	・傘を壊してしまった低学年の児童に、自分がぬれても手助けをしてあげていた高学年の児童の姿が素晴らしかった。 ・高学年を中心に班で助けあいながら登校することができている。	A
専門性と実践的指導力の向上	・学習内容の確実な定着を図るため、児童一人一人の興味・関心・意欲等を踏まえて指導方法を工夫するとともに、Chromebook(タブレット)等のICT機器を活用した授業づくりや授業研究を行うなど授業力の向上に努めた。	B	・学校で指導している内容が家庭でも浸透するよう、家庭への理解を図り、協力が得られる様な啓発活動を充実させる。	・3学期の参観日ではchromebookを使って総合的な学習のまとめや国語の作品の発表を行っており、活用力が向上していることが伺えた。	B
地域が活性化する教育活動	・学校は、学校だより・学年だより・HP・ブログ・39メールなどを活用し、家庭や地域との連携を一層推進するための学校運営に関する新しい情報を積極的に発信した。 ・シニアクラブや地域ボランティアの方々およびPTAのご協力により、コミュニティスクールとして、家庭・地域と連携した活動ができた。	B	・保護者や地域の方々の来校の機会を確保する。 ・地域の方と児童の交流の様子を発信する。	・世代間の交流がよく行われている。 ・昔遊びに参加させていただいたが、とても良い体験ができた。 ・ゆうあい年賀などに、自分の夢が書いてあり、子どもたちのパワーを感じる。年配の方も子どもから力をもらっている。 ・子どもの意見を取り入れながら、地域を受け入れる行事をもっと増やしてほしい。	B